

かがやき

<http://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/>

病院広報誌

Vol.33

2018 夏号

形成外科

「形成外科」開設しました

脳神経外科

「脳神経外科」開設しました

輸血部

「輸血部」開設しました

Summer
herbs

ご自由
にお持ちください
TAKE FREE

「形成外科」 開設しました

平成30（2018）年4月1日より当院に形成外科が開設されました。

形成外科に対しては、「傷を治したり、美容の治療を行ったりする」という漠然としたイメージをもつ方が多いと思います。また、整形外科との違いについて疑問を感じる方もいらっしゃるかと思います。整形外科は骨や筋肉、関節、靭帯、神経など身体運動器の障害を、主に機能を重視して治療する診療科であるのに対し、形成外科は身体の外表に現れた醜状、変形、欠損などに対して、機能面に加え「より正常に、より美しく」形態面を重視して治療する診療科です。



実際の治療分野は、皮膚および皮下の腫瘍の摘出や外傷・熱傷後のケロイド・瘢痕拘縮（ひきつれ）に対する治療、褥瘡や糖尿病に伴う足の壊疽などの難治性の皮膚潰瘍の修復、顔面の外傷や麻痺、眼瞼のたるみや下垂などの老化性変化、小耳症や多指症などの生まれつきの変形、頭頸部がんや乳がん、四肢悪性腫瘍、消化器がんなどの腫瘍摘出後の再建手術、など多岐にわたっています。

手術前



手術後



手術前

手術後

このように形成外科は『失った機能や形を回復』させることにより、患者さんがよりよい人生を送れるために関連する他の診療科のドクターたちと協力して治療を行っております。現在当院形成外科では日本形成外科学会専門医が3名勤務しており、宮城県で世界最高水準の形成外科医療を提供できるよう、日々最新の医療情報を取り入れながら診療に取り組んでいます。

形成外科の受診を希望される方は、かかりつけ医療機関から診療情報提供書（紹介状）を発行していただいで予約を取っていただくことが望ましいですが、当科の診療時間内（平日午前11時半まで）に直接来院された方も診察いたします。皆様のお役に立てることを願っております。

形成外科 科長
権太 浩一



「脳神経外科」開設しました

東北医科薬科大学病院の脳神経外科は平成30（2018）年4月1日に開設されました。脳神経外科の初年度は准教授 林俊哲、助教 庄司拓大と3名でのスタートとなりました。また、外来診療は平成30（2018）年4月16日から開始しました（写真1）が、患者さんは未だ少ない状況です。

現在、手術関連の機器の準備、手術場・病棟ナースの教育などを行っているところで、早期の定期手術開始を目指しています。手術用顕微鏡は最新のKINEVO 900（写真2）を準備しておりますし、神経機能の術中モニタリング（写真3）も駆使した安全な手術を提供したいと考えております。

とはいっても、新大学病院棟は建築中であり、現在は病床も8床のみで、血管撮影装置もシングルの小さいディテクタ*1というのが現状です。新大学病院棟は平成31（2019）年3月に完成予定で、そこには新しいパイプライン*2の脳血管撮影室や新しい手術室もあり、病床も20床以上になる予定です。以上のような状況で、当科のフル稼働は平成31（2019）年4月になる予定です。



写真1：外来診療開始



写真2：手術用顕微鏡KINEVO 900

手は動くのか・目は見えるのか

手を動かす脳

手の筋の反応

ものを見る脳

視覚の反応

写真3：神経機能の術中モニタリング

脳神経外科 科長
佐々木 達也

※1 検出器
※2 2方向同時撮影

当科の役割は大きく3つに分けられます。

1つ目は新しい大学での脳神経外科学の学生教育です。平成30（2018）年5月15日から3年生になった一期生の臨床講義が始まりました。国家試験を意識したわかりやすい講義をします。

2つ目は地域医療に貢献できる脳神経外科医の育成です。現在初期研修医は1年目のみで7名おります。彼らが回ってみたいと思うような雰囲気作りも重要と考えております。

3つ目は多賀城市、塩釜市を含む仙台市の東側の地域医療の充実であります。新生児から高齢者まで、脳神経疾患全般にわたり最新の治療を提供します。脳卒中や頭部外傷など救急患者に対しては365日24時間体制で臨む予定[平成31（2019）年4月から]で、患者さんおよび御家族のための脳神経外科疾患治療に日々努力いたします。

「輸血部」開設しました

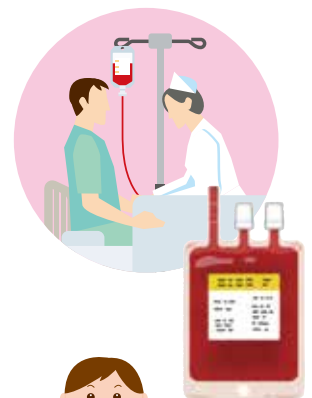
これまでも検査部の一部門として業務を行っていましたが、大学病院の拡充に合わせ、平成30(2018)年4月より、輸血部が新設されました。

けがや病気、手術などで出血があり、生命に危険が生じる場合や、十分な血液を作れない場合、血液を固めるタンパク質（凝固因子）が足りずに出血の危険が生じる場合などに、それを補う目的で輸血が行われます。

輸血部では、ABO型などの血液型の検査、輸血が安全に行われ、その後副作用がないかを調

べたりするための検査、輸血する血液製剤の保管管理などを行っています。手術に際しては、担当医からの依頼で自己血輸血も行っています。

輸血を受けられた患者さんは、輸血後2～3ヶ月後に、輸血によるウイルス感染（B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、エイズウイルス）がないか採血にて確認しますので、担当医から説明がありましたら、ご協力をお願いいたします。



輸血部
沖津 庸子



INFORMATION

当院での企画や行事、最新情報をお伝えいたします！



各診療科の診察室や各部門の治療室など、場所の移動が続いています

新大学病院棟の建設工事のため、各診療科の診察室や各部門の治療室など、場所の移動が続いています。最新のフロアマップ情報を下記のとおり整理しました。受診される際のご参考になりましたら幸いです。

平成30(2018)年7月1日現在

2F

外来	腫瘍内科	腎臓内分泌内科	脳神経外科
	形成外科	精神科	皮膚科
	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科
	リハビリテーション科	放射線科	歯科口腔外科
<ul style="list-style-type: none"> ● 食堂 ● 手術室 ● 作業療法室 ● 療養指導室 ● 外来化学療法センター ● 待合室 ● 理学療法室 ● 言語治療室 ● カウンセリング室 ● 相談支援センター・がん相談支援センター 			
(多目的棟)大会議室			

1F

外来	総合診療科	呼吸器内科	循環器内科
	消化器内科	糖尿病代謝内科	脳神経内科
	感染症内科	がん治療支援(緩和)科	呼吸器外科
	心血管外科	消化器外科	乳腺・内分泌外科
	肝胆膵外科	整形外科	血液・リウマチ科
	小児科	泌尿器科	救急科
	<ul style="list-style-type: none"> ● 採血室 ● 検査室 ● 総合案内 ● 救急センター ● 売店(ローソン) ● 薬剤部 ● 放射線室 ● 会計窓口 ● 入院支援室 ● セットレンタル申込受付 ● 総合医療支援センター(医療連携室) ● ATM(七十七銀行、ゆうちょ銀行) 		
(多目的棟)喫茶店(cafe CORE)、理容室			

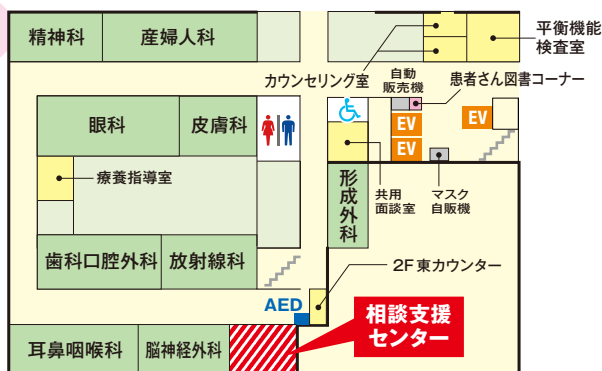


ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！

相談支援センター

当院では、医療費などの経済的なことや治療上のことなど、病気に関るご不安やお悩みを少しでも和らげられるよう、相談窓口を設置しております。どこに相談したらいいのか分からないとお困りの際には、お気軽に下記までご相談ください。

2階



- ◆日時：月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
9:00～16:30
- ◆TEL: 022-259-1221(代表)



ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！

健康講話のお知らせ

地域の皆様が明るく楽しく健康な生活がおくれますよう、「健康講話」を開催いたします。どなた様もお気軽にご参加ください。

- 開催日時：下記の日程の水曜日 13:30～14:30
- 開催場所：東北医科薬科大学病院(多目的棟2F大会議室)
- 参加料：無料

【予定演題】

- 7月11日 ①減塩のすすめ
②前立腺疾患(癌・肥大症)について
- 7月25日 ①認知症になっても安心して暮らしていくために
- 8月8日 ①胆管癌とは？
- 8月22日 ①糖尿病との上手なつき合い方
- 9月12日 ①子どものアレルギーは
予防できるのか？
②白内障といわれたら
- 9月26日 ①骨粗鬆症のはなし(仮)



ケータイ・スマホの方はこちらからもアクセス！

特別講話

開催場所：高砂市民センター 参加料：無料

- 7月18日(水) 10:00～11:30
デュアルタスク、記憶力について
- 9月21日(金) 10:30～11:45
アレルギー、アトピーについて(仮)

※9月21日(金)の講話は、託児保育の利用については別途有料となります。